

# オニビシ

*Trapa natans* L. var. *quadrispinosa* (Roxb.) Makino

ヒシ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー

該当なし

## 選定理由

生育地の環境が人為による影響を受けやすい。(現況:RO)

## 形態

浮葉植物。葉の形やサイズは生育環境によって大きく変異し、ヒシの変異幅とほぼ重なる。浮水葉の葉柄および裏面脈上に密毛があるのもヒシと同様。しかし、果実は4刺針を持ち、大型で全幅は45~75mm。子房突起は突出しない。葉柄や葉の裏面が赤く色付くものをメビシとして区別することもある。花は白色。4花弁。

## 国内分布

本州、四国に確認されているが、全国的な分布実態はよく分かっていない。

## 県内分布

内浦区、南加賀区。

## 生態など

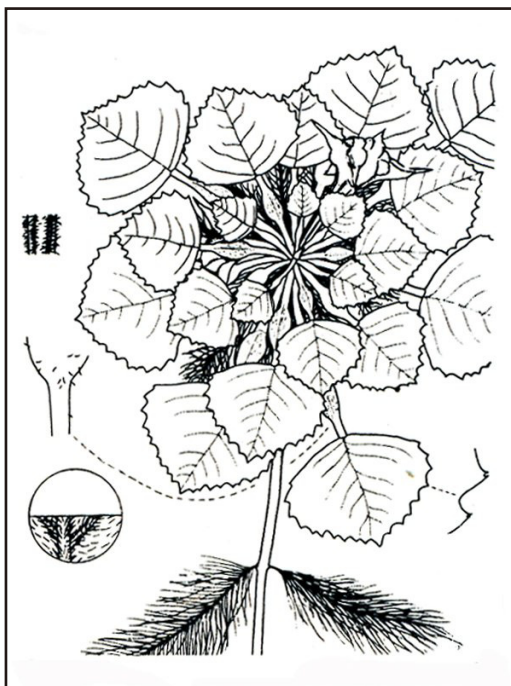
一年生。花期は7~10月。しばしばヒシと混生するが、オニビシの葉の方が先に紅葉して枯れていく。熟した実は茎から離れて水底に落ち、種子で越冬し土の中で翌春の発芽を待つ。

## 生育環境

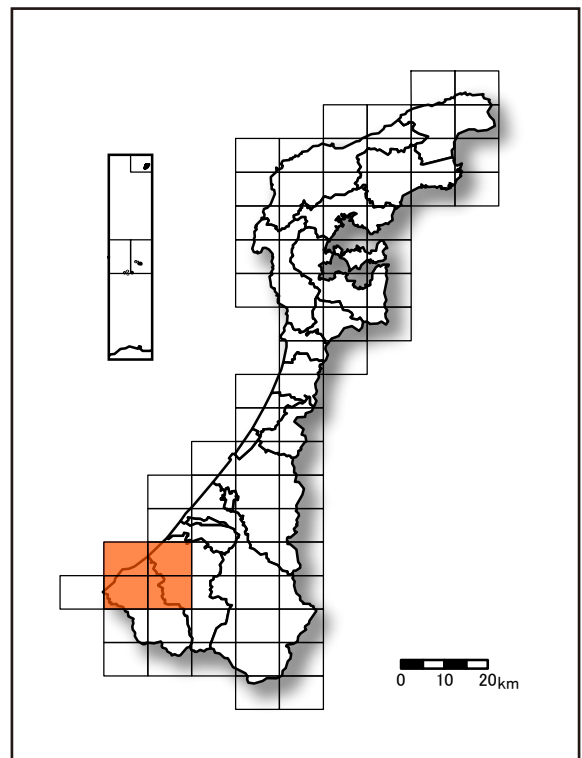
池沼。

## 危険要因

池沼開発、水質汚濁、管理放棄、自然遷移。



小牧(1987)より引用



県内の分布